

打倒ボス！第一編

豊川中部中・1 戸莉 和瑚

この時期が来てしまった

「うわーっ！もうヤダ！助けて！」

そうなげく中学生になって二カ月の私

私は期末テストの勉強に追い込まれていた
中間テストは順位が低かったから：

「頑張ろう。」

心に決めた私

母に言われた

「時間が無いからこつこつ勉強しときな。」

分かっているけど：

そんな声はがまんして勉強を始める

カチカチ：コトコト：

シャーペンが走る

目標を決めた私

数字が苦手なので必死に取り組んだ

分からない問題が出現した

私には悪魔の攻撃のようにささった

考えろ：私

「あ！分かった！」

その瞬間きりが晴れたように心が軽くなる

「考えるのって楽しいかも。」

そう思う私は一日四時間近く勉強した

期末テスト当日

日々の積み重ねがあつたためようがあつた

テスト中は

「あ！ワークに出てたやつだ！」

「なんだこの問題。」

いろいろな気持ちがかめぐる
ただ

中間テストより分かる問題が多い

それに私は驚いた

そして得点と順位の発表の日

紙をもらうと

目標達成！

テストは自分との戦いのように感じた

努力がむくわれたような気がした

家へ帰り

母と父に報告した

二人とも表彰式のようにほめてくれた

うれしくてニヤけが止まらなかった

このとき実感した

勉強は

やればやっただけ結果が返ってくることを

次の目標を決めた私は

どんな問題でも

あきらめずにたおしていく